

令和3年8月2日（月）

新型コロナウイルス感染症、クラスター（集団感染）

終息報告

〔感染報告 第3報〕

社会福祉法人 春濤会

理事長 久保寺 玲

当法人運営の福祉型障害児入所施設『八幡学園』におけるクラスター感染について第1報と第2報で途中経過をお知らせしました。その後、園内の感染状況もおさまり新たな罹患者発生もなくなったことから、7月30日（金）をもって終息との判断が管轄保健所より下されましたのでご報告申し上げます。

7月6日（火）、最初の陽性者確認後に5名以上罹患のクラスター（集団感染）となりご心配をおかけしましたが、職員一丸となつての感染拡大防止の努力と関係各位皆様のご理解とご協力により、発生以来24日間にて終息に至っております。その間、物心両面に渡り、関係各位や関連機関の数多くの方々よりご支援や励ましのお言葉を頂戴しました。職員一同、心より感謝申し上げます。また事態発生後の市川健康福祉センター（市川保健所）及び千葉県障害福祉事業課様のご指導ご支援、東京都所管課様の迅速な衛生用品提供のご協力にも御礼申し上げます。

感染者は、入園児8名と職員3名、計11名でした。いずれも軽症でした。入園児は施設内療養、職員は自宅やホテル療養を経て順調に快復しております。濃厚接触者は、入園児58名中罹患児8名を除き40名、職員は14名でした。児童が多いのは入所施設での生活であることと障害児であるためです。濃厚接触者も施設内や自宅での経過観察期間を経て、無事、日常生活に復帰しています。

当法人では、新型コロナウイルス感染症発生以来、感染予防には努めてきましたが、クラスター発生を防止出来ず、残念でなりません。今回の経験を教訓に、反省改善をすべき諸点を精査し、今後も更なる感染防止体制強化に力を入れてまいります。

法人ホームページを閲覧の皆様におかれましては、当法人事業運営へのご理解とご協力を、今後とも賜りますようお願い申し上げます、終息の報告とさせていただきます。

以下、第2報〔7/19（月）まで〕以降、終息に至るまでの経過についてご報告致します。

7月20日（火）

- ・濃厚接触者とされた児童の内、3名が経過観察期間終了し、対象から外れる。
- ・陽性者となり自宅療養中の職員1名より、本日にて療養期間終了するとの指示が保健所よりあったとの報告がある。明日7/21より復帰予定とした。

7月21日（水）

- ・濃厚接触者経過観察期間が終わり、年長男児寮と年少男児寮が対象から外れる。濃厚接触者として経過観察継続寮は5寮中、女児寮と年少男児寮の2寮となる。
- ・職員1名が、陽性判明後の自宅療養が終わり勤務に復帰する。

7月22日（木）

- ・隔離看護中の女児の療養期間終了が確認され、午前中より隔離を解除。

7月23日（金）

- ・ 隔離看護中の男児の療養期間が本日で10日目となる。が、発熱が続いているため、週末は引き続き経過観察し、週明けに隔離解除の判断をすることになる。

7月24日（土）

- ・ 濃厚接触者とされ、出勤停止で自宅待機中だった職員の内、最後の2名が復帰。職員の濃厚接触者扱いによる出勤停止者がいなくなる。

7月25日（日）

- ・ 終日、特に動きなし。

7月26日（月）

- ・ 隔離看護中の男児の発熱が続くため、保健所が医療機関を手配し、通院させることになった。本日は保健所多忙で、通院先確定に至らず。
濃厚接触者として経過観察継続察の内、女児察の経過観察期間が昨日7/25で終了したことが確認される。経過観察は5察中、年少男児察1察のみとなる。

7月27日（火）

- ・ 隔離看護中の男児の通院先が、保健所仲介により決まる。学園最寄りの園児のかかりつけの内科クリニック。クリニックは、明日7/28が休診日のため、7/29（木）am10:30 予約での通院となった。

7月29日（木）

- ・ 発熱のため療養期間延長中の男児の通院を、学園看護師付添で、予定とおりに行う。発熱の原因を探るため、抗原検査が実施され、結果は陰性。より正確を期するため、後日にPCR検査実施の指示を受けた。

7月30日（金）

- ・ 男児の通院内容を看護師より保健所に報告。下記の指示と判断が伝えられた。
 - * 既に発症後14日間の療養期間が終了していることもあり、検査はしなくてもよい。
 - * 男児が本日7/30pm8まで、37度5分以上の発熱がなければ、その時点でクラスターは終息とする。
- ・ 看護師が保健所と夕方pm4:50頃、男児の発熱の状況等を報告連絡したところ、下記の判断が、改めて伝えられた。
 - * 男児の発熱がおさまっていることもあり、夜まで待たず、現時点で今回のクラスターは終息とする。
 - * 男児の療養期間は本日7/30までで終了とする。

7月31日（土）

- ・ 隔離看護中の男児を、朝食後に隔離介助。陽性者児童がいなくなる。
- ・ 近隣住民にクラスター終息のお知らせをする。